

APPLIED BUSINESS STUDIES REVIEW

ビジネス 実務論集

No. **17**

1999年3月

論文

情報化の進展に伴う女性事務職の変化：実証研究 ————— 松下紘子・大津洋子… 1

報告

秘書の就業形態の多様化の実態と今後の展望 ————— 権田恵子…13

ビジネス実務教育における情報リテラシー育成の視点と課題 ————— 戸田昭直・西川三恵子…23

ビジネス社会の精神側面における問題点とその対策の研究
—— ビジネス社会をとりまく環境からのアプローチ —— ————— 菱田陽子・野口喜美代…31

研究ノート

知識—経済人モデルと組織設計 ————— 山口憲二…45

コミュニケーション能力についての一考察 ————— 小川厚子…51

就業規則の性質
—— ビジネス実務の視点から —— ————— 石井真美…61

特別寄稿

三沢仁のファイリングシステム
—— ビジネス実務史の一断面 —— ————— 福永弘之…71

編集後記

今回は論文9点、報告3点、研究ノート2点の14点の応募がありました。しかし残念ながら論文1点、報告3点、研究ノート3点、特別寄稿1点の計8点しか掲載できませんでした。

松下紘子先生たちの「情報化の進展に伴う女性事務職の変化：実証研究」は、情報テクノロジーが個人に及ぼす影響について精緻な実証研究を行っておられることが注目されます。権田恵子先生の「秘書の就業形態の多様化の実態と今後の展望」は、就業形態の多様化にともなって、正社員と非正社員の秘書が就業していますが、その実態を詳しく調査されています。戸田昭直先生たちの「ビジネス実務教育における情報リテラシー育成の視点と課題」では、情報リテラシーに関する定義・展開について検討して、ビジネス実務教育における情報リテラシーのあり方を模索されています。菱田陽子先生の「ビジネス社会の精神側面における問題点とその対策の研究」は、アンケート調査をもとにビジネス実務におけるメンタルヘルス・ケアの現状と対策について述べられています。山口憲二先生の「知識—経済人モデルと組織設計」は、電子メールやグループウェアといった情報共有にかかわる情報システムについて検討して、情報化投資や組織設計に際しての指針を提示されています。小川厚子先生の「コミュニケーション能力についての一考察」では、今後必要とされるコミュニケーション能力に対する数々の提言が行われています。石井真美先生の「就業規則の性質」は、就業規則とビジネス実務とのかかわりについて考察されています。特別寄稿の拙稿は、三沢仁初代会長を偲んで同先生の業績をわが国における文書管理発展の大きな流れの中でみております。今後、後進のために役立つと思います。

以上のように従来になく幅が広がりました。他の論文も良いものがありましたが、「ビジネス実務」の範囲が不明確なため、せっかくの論文が絞れず不採択になったものもありました。今後研究推進委員会でビジネス実務の範囲を明確にさせていただくことにしております。それが実現すれば、論文作成にも役立つと思っております。

(福永記)

■編集委員 福永弘之（委員長）、田中篤子、佐藤啓子、中佐古勇、森貞俊二、
吉田寛治、佐藤東九男、大宮 登

ビジネス実務論集
No17 1999
平成11年3月発行

発行 日本ビジネス実務学会 編集委員会
〒004-8603 札幌市清田区清田4条1丁目4番1号
札幌国際大学短期大学部内
TEL(011)883-2490
制作 (株)アイワード
TEL(011)241-9341(代)